

# 令和7年度官民協働事業レビューにおける意見・評価

事業番号:8月30日(土)①-1

担当部局・担当課名:土木部建設技術企画課

事業名	つなげる！建設業・若者交流事業	評価結果	一部改善
-----	-----------------	------	------

## 事業レビューにおいて発言のあった主な意見

### 【委員の意見】

- ・人材確保を考えるなら、県が主体的に委託事業として行うのではなく、事業者が主体となって実施し、それに県が補助する方式も一つの考え方としてあるのではないか。
- ・「給料が良い」「休暇が取れる」「希望が持てる」といった新3Kやドローンを活用した仕事など、業界に対する前向きなイメージ戦略が必要ではないか。
- ・イベント後だけでなく、開催前も含めて、参加事業者やターゲット層(高校生、大学生)からの要望や評価をより丁寧にヒアリングすべきではないか。
- ・参加事業者数(58社)と参加社員数(110人、1社あたり約2人)が少ないという印象を受けた。企業・団体も危機感をもつ必要があるし、参加企業を増やす努力が必要ではないか。

### 【県民評価者の意見】

- ・富山駅のイベントスペースは認知度が高く人が集まりやすい点は良いが、スペースが限られている。もっと広い場所で重機などを持ち込んで実演するなど工夫すれば、参加企業数や来場者の幅も広がるのではないか。
- ・公共工事が減ってきたことが担い手減少の一因となっている可能性があり、国や県が公共工事を増やすことも、業界への入職者を増やす一つの方法になるのではないか。

### 県民評価者の評価シートによる評価

県民評価者総数	20
評価区分	行政の関与不要
	役割分担見直し
	抜本的改善
	一部改善
	現行どおり・拡充
	2
	1
	4
	12
	1 (現行0、拡充1)

県民評価者の主なコメント	評価結果と 上記以外	【一部改善】
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・給料が少なそう、仕事がキツそうなどのイメージがあるから、フェス等で仕事の内容に興味を持つても就職に結びつかないのではないか。新3Kの内容を具体的にアピールした方がよい。</li> <li>・子どもの頃の体験は将来に大きく影響すると思うが、一方で親の考え方や理解も職種に影響を強く与える。保護者側のネガティブイメージを解消する取組みもあっていいのではないか。</li> <li>・開催後のフォロー(個別見学会や出前講座)にもつなげていける事業構成にしてはどうか。</li> </ul>
		【抜本的改善】
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント内容をみても、わざわざ時間を作つて参加しようと思えるものではない。全くの初心者でも就労可能なのであれば、そこを前面に出してアピールすれば、仕事を探している人の目にも留まりやすいのではないか。</li> <li>・離職者が多く、就業者が少ない原因にフォーカスしてはどうか。</li> </ul>
		【行政の関与不要】
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地のイベントでは限られた人しか注目しないと感じる。中学や高校などで、建設・土木業への親しみを深める活動をしてはどうか。</li> <li>・労働に対する給与が低いという建設業への根本的な不満の解消には寄与していないのではないか。</li> </ul>
		【役割分担見直し】
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・クイズ、カフェなどの企画により集客はできるが、将来の見通しがもてないと就職・就学にはつながらない。</li> <li>・業者主体で実施すればよいのではないか。</li> </ul>
		【現行どおり・拡充】
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設業は我々の生活、社会経済に重要な役割を担つており、とても必要な事業である。年1回ではなくて、2回等に増やしてもよいのではないか。</li> </ul>

事業名	つなげる！建設業・若者交流事業			評価結果	一部改善
【参考】委員による評価			委員総数	4	
評価区分	行政の関与不要	役割分担見直し	抜本的改善	一部改善	現行どおり・拡充
	0	0	0	4	0 (現行0、拡充0)

### 【事業レビュー結果を受けた県の対応】

今後の対応方針	一部改善	事業内容見直し			
	○参加者に建設業を魅力ある就職先として考えてもらうため、建設業が誰にとっても働きやすい職場であることをアピールし、良くないイメージ(旧3K)を払拭できる企画を検討する。 ○最新技術により、誰にとっても安全で快適な働き方が可能になっていることをアピールするため、ICT建機等の最新機器の操作体験エリアの設置を検討する。				
令和8年度当初予算要求時の対応	R8当初予算(要求額)	3,500(千円)	R7当初予算	3,500(千円)	増減なし
	増減理由				

### 当初予算編成プロセスの見える化

令和8年度当初予算	要求状況	要求額	3,500(千円)	前年度予算額	3,500(千円)
		事業の目的	建設業の仕事の魅力を紹介し、県内建設企業の若手社員等と直接交流するイベントを開催することで、中高生等が県内建設企業で働くことへの理解を深め、就職につなげるもの		
		事業内容	①イベントの企画及び広報 ②イベント会場の設営及び運営		
		積算内訳	①800千円、②2,700千円		
	予算編成過程における議論など		事業レビューにおける意見を踏まえ、ICT建機等の最新機器の操作体験エリアの設置検討など、建設業のイメージ向上に資する内容となるよう見直しを実施		
	最終的な予算案	予算額	3,500(千円)	R⑦.2月補正	
		要求時点からの変更点	変更なし		